



# 新ゴリラ日記



vol.94

2025年2月

## ＊ 6年9か月ぶり ＊

1月後半、ゲンキに発情の兆候が見られました。まだホルモン検査の結果は出ていませんが、行動的には間違いなく発情でした。そして、発情初日、2日目共に複数回の交尾が確認できました。ゲンキは現在38歳、6月には39歳になり、今後妊娠すると高齢出産になります。ヒトと同じでゴリラも、高齢になると妊娠する確率は下がりますし、出産のリスクも上がります。ただ、40歳を過ぎて出産した個体も世界中の動物園には何頭かいますので、危険すぎるというわけではありません。現在のゲンキは虫歯という不安要素はあるものの、昨年4月の治療以来顔が腫れることもなく、定期的に行っている血液検査でも異常は見られず、健康な状態です。自然の成り行きに任せて、出産となった場合にはこれまで以上に気を付けてサポートするつもりでいます。皆様も静かに見守って頂けると幸いです。ゲンタロウは、おそらく発情の匂いに反応して普段以上にディスプレイをしていましたが、ゲンキやモモタロウに対してではなく職員や来園者など周りにはいる女性に対してのアピールのようでした。ゲンキもゲンタロウには興味はないようでした。キンタロウは初めて見る両親の様子に、7年前のゲンタロウ同様、テンションを上げて両親の周りで見て触って、匂いを嗅いで、忙しきうにしていました(笑) 一見両親の邪魔をしているようにしか見えませんが、こうしていろいろなことを学んでいきます。



↑発情2日目の朝。大人しく母の隣をキープするキンタロウ(笑)

## ✿ 頑張りました！ ✿

今回のゲンキの発情で、担当者にとって一番印象的だったのは、モモタロウの行動でした。これまで、発情したゲンキに対して積極的とは言い難いモモタロウでしたが、今回はとても積極的な姿を見ることができました。数日間で、普段ゲンタロウが担当者たちにするのと同じアピールの声でモモタロウがゲンキに対して鳴くの何度も聞きましたし、ゲンキは発情が終わりに近づきイマイチの反応なのに、モモタロウからゲンキに近づいてマウントしようとするシーンもよく見かけました。きちんと発情や交尾の様子を見る機会のある息子たちと違い、若い時に交尾を見る機会のなかったモモタロウ。きっと息子たちは将来メスの発情に戸惑うことなく対応できるのだらうと思います。7年前は戸惑いまくって9か月間交尾が成立しなかったモモタロウの大きな成長に何よりも嬉しさを感じました。



↑ 餌を食べるゲンキを見つめるモモタロウ。  
7年前はモモタロウが食べている方でした。



## ～今回の一枚～

### 「寒いのに…」

日中、部屋にも入れるのにグラウンドに座るゲンタロウ。部屋に呼んで落花生を与えても、もらうとすぐ出て行ってまた座っていました…(笑)  
難しいお年頃なので理解しがたい行動もとりますが、風邪を引かない程度に、ゲンタロウの好きなように過ごしてくれたらいいと思っています  
(\*^^\*)